

2017年12月22日配信



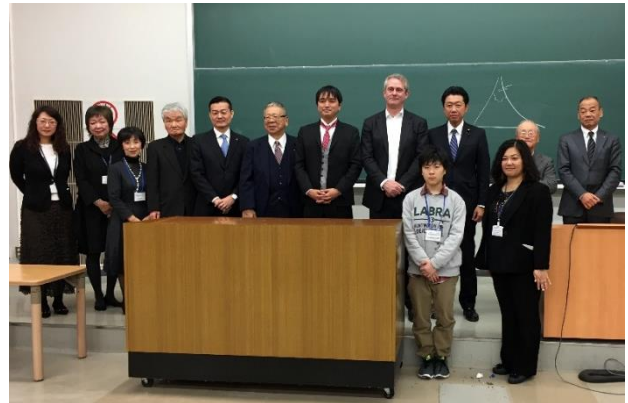
かど博文 活動報告

週刊「かどTOPICS」

● 12月16日(土)「子ども大学わかやま」開校！



足立教授の授業を受ける子どもたち



教授、教育委員会、実行委員の皆さまとの記念撮影

顧問としてお手伝いさせていただいている「子ども大学わかやま」が開校しました。

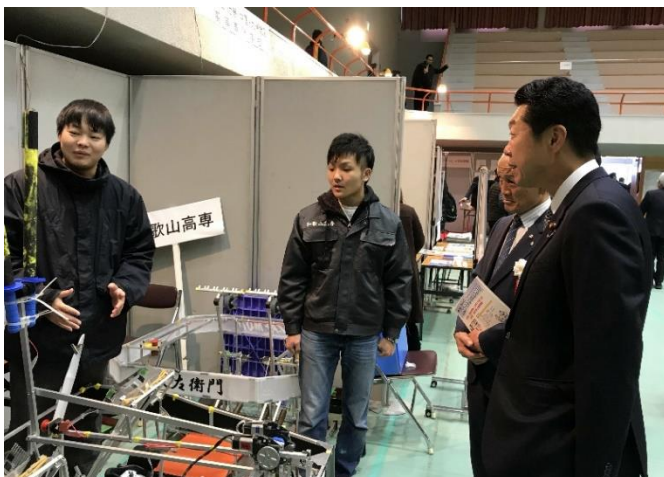
「子ども大学」とは、大学生に教える授業内容を大学の教授が大学にて小学校高学年の子どもたちを対象にボランティアで教える“学びの場”です。

1時限目は和歌山大学の足立教授に“まちづくり”、2時限目はデービッド・アトキンソンさんに“外国人から見た和歌山”について授業をしました。

和歌山の未来、日本の未来を担う前向きな子どもたちにたくさん来ていただけたので非常に嬉しかったです。

ご協力いただいた両教授、和歌山大学、和歌山県及び和歌山市教育委員会の皆さま、実行委員長林海運の林会長、全国に展開している子ども大学の生みの親・酒井様、そして実行委員会の皆さま本当にお疲れさまでした。今後もお手伝いをさせていただきます。

● 12月17日(日)きのくにロボットフェスティバルに興奮！



小中学生や高校生が作ったロボットのコンテストや企業の最先端ロボットの実演などを行う「きのくにロボットフェスティバル」に行ってきました。

この大会は子どもたちに“ものづくり”に対する関心を高めてもらおうと、県などが実行委員会を作り、毎年開催しているものです。開会式に続いて「全日本小中学生ロボット選手権」が行われました。小学生や中学生の技術力、発想力の豊かさに驚かされました。日本の未来が楽しみです。目指せノーベル賞！